



大仙市立豊川小学校 校長室だより

# ゆめアップ 豊川っ子

令和2年度 第20号 2020.7.1

## 学校評議員会・大仙市教育委員会訪問

学校評議員の制度は、地域社会に開かれた学校づくりを一層推進していくため、保護者や地域住民などの相互の意思疎通や協力関係を高めるために約20年前から設けられた制度です。本校は、次の方々をお願いしており、6月24日（水）に1回目の学校評議員会があり、子どもたちの様子を見ていただきました。

- ・鈴木 清仙 氏（元PTA会長） ・原 香 氏（交通安全協会豊川支部女性部会長）
- ・渡部 敬子 氏（中仙地区主任児童委員） ・古村 真樹 氏（現PTA会長）

評議員の方々から、「子どもたちが生き生きとしており、ICT機器を用いるなど、先生たちが工夫を凝らして授業している」、「“ワクワク登校 にこにこ下校”の合言葉が素敵で、子どもたちに夢をもたせている」等のご意見がありました。鈴木評議員から「学校統合しても、地域に郷土に根ざした学校であってほしい」のご意見を大事にしながらか学校運営に当たっていきたくと思います。



【教育委員会の方々の授業参観】

6月30日（火）には、大仙市教育委員会の訪問があり、吉川正一教育長はじめ、8名の方々に子どもたちの様子を参観していただくとともに、本校の今年度の営みについて説明しました。「少人数のメリットを活かした指導がなされている」、「学校統合に向けて順調に進められている」の感想がありました。

また、吉川教育長さんからは「『質問できる子』の育成が、子どもたちのこれからの見据えたとき大切であること」、鈴木松右衛門教育委員からは「相手の意見を受け入れて自分の考えを言える子ども、自分のよさと短所を自覚できる子どもを育ててほしい」等、貴重なご助言をいただきました。

外部の方に学校の様子を見ていただくのは、ありがたい機会です。ご意見やご助言を踏まえ、今後も子どもたちへの指導を工夫して参ります。

## 「円満造甚句」練習 PART2

下学年に引き続き、先週は上学年が「円満造甚句」踊りの練習を行いました。

保存会の方々からは「上学年はしっかり体が覚え込んでいる」とお褒めの言葉をいただきました。

今年度はお披露目の機会が少ないので、「分館まつり」が中止にならず、出演する機会があればと思います。

なお円満造甚句保存会では本日から練習会を開始するとのことで、時間がある方は来てほしいとのことです。

詳しくは次の通りです。

### 円満造甚句踊り 練習会

7月1日（水）から毎月水曜日

時間 午後7時から

場所 豊川分館

※お子さんが参加するときは、お家の方が同伴でお願いします。

## 秋桜（コスモス）プロジェクト

本校の子どもたちは来年度からは原則、中仙中学校に進学します。先日、中仙中学校生徒会の子どもたちが、生徒会で行っている「秋桜プロジェクト」について、本校の6年生に説明しにきてくれました。

「秋桜の里づくり」、「IDD運動（いつでも、どこでも、だれにでも）」について説明してくれ、郷土愛、地域貢献の思いが伝わってきました。

それを受け、6年生は全校の皆に説明していただいた内容を伝え、秋桜の種を配ってくれました。

